

# ものづくり基礎講座(第63回技術セミナー)のご案内

## 『金属の魅力をみなおそう 機能編 第2回 軽量金属材料』

《主催》東北大学金属材料研究所 附属産学官広域連携センター

《共催》MOBIO (ものづくりビジネスセンター大阪)、公益財団法人大阪産業局、学際・国際的高度人材育成ライフイノベーションマテリアル創製共同研究プロジェクト、東北大学金属材料研究所 新素材共同研究開発センター

《協賛》公益社団法人日本金属学会、大阪府立大学ものづくりイノベーション研究所

### 【趣 旨】

金属は身近な素材ですが、金属そのものを勉強する機会は必ずしも多くありません。私共は、金属を見つめなおす機会を提供することで、ものづくり企業の皆様に今後の仕事に役立ててもらうことを期待し、「金属の魅力をみなおそう」と題した講座を開講しています。この講座の第4弾「機能編」では、1回目の「鉄鋼材料」に続き、今回2回目は「軽量金属材料」をテーマに、アルミニウムとチタンを取り上げます。

アルミニウムは構造材料用素材ではマグネシウムに次ぐ低密度を有し、地球上に豊富な資源を有する金属です。熱伝導性や電気伝導性に優れ、加工性を備えることから民生用にひろく利用されています。一方、チタンは融点が高く、軽量性や耐食性に優れていることから、飛行機や船舶などの輸送体や化学プラントの構造部材、そして高い生体適合性からインプラント材料に使用されています。今回は、初めに軽量金属材料の概要を紹介し、続いて企業から講師をお招きし、アルミニウムとチタンの応用面や最新のトピックスを御講演いただきます。滅多にない企画ですので、奮ってご参加下さい。

## ものづくり基礎講座 開催概要

【テーマ】 「金属の魅力をみなおそう 第4弾 機能編 第2回 軽量金属材料」

【日時】 令和2年2月18日(火) 14:00～16:10

【場所】 クリエイション・コア東大阪 南館3階 技術交流室A

(東大阪市荒本北1-4-1) <http://www.m-osaka.com/jp/access/index.html>

※地下鉄中央線「長田駅」3番出口から北東に徒歩10分

又は近鉄けいはんな線「荒本駅」1番出口から北西に徒歩5分

(本施設の駐車場はございませんので、公共交通機関でご来場ください。)

【参加費】 1,500円(テキスト代)セミナー当日、受付にて現金でお支払い下さい。

【定員】 50名程度(先着順・事前申込必要)

【プログラム】 <開会 14:00> 司会 東北大学 金属材料研究所

『挨拶』東北大学 金属材料研究所

正橋 直哉 教授

<講演Ⅰ 14:05～14:35>

『軽量金属材料の基礎』

東北大学 金属材料研究所

正橋 直哉 教授

(休憩 14:35～14:50)

<講演Ⅱ 14:50～15:25>

『アルミニウム合金板材について～飲料用アルミニウム缶の材料技術～』

株式会社神戸製鋼所

山口 正浩 氏

<講演Ⅲ 15:25～16:00>

『チタン合金の構造部材への適用事例について』

三菱重工業株式会社

福島 寛明 氏

<閉会>

【お申込み】 受講申込書に必要事項をご記入の上、以下までFAX又は電子メールでお送り下さい。

(公財)大阪産業局 (東北大学金属材料研究所 附属産学官広域連携センター 担当:三井)

<電話>06-6748-1144

<FAX>06-4708-3550

<件名>ものづくり基礎講座受講申込 <E-mail> kinzokukei@mydome.jp

